

衛生行政報告例の概況

1 精神保健福祉センターにおける相談等

精神保健福祉センターにおける来所による相談延人員は 189 人となっている。主な相談内容別にみると、「心の健康づくり」が 45 人 (23.8%) と最も多く、次いで「ギャンブル」41 人 (21.7%)、「その他」32 人 (16.9%) となっている。電話による相談を受けた延人員は 7,471 人、電子メールによる相談を受けた延人員は 52 人となっている。

2 栄養

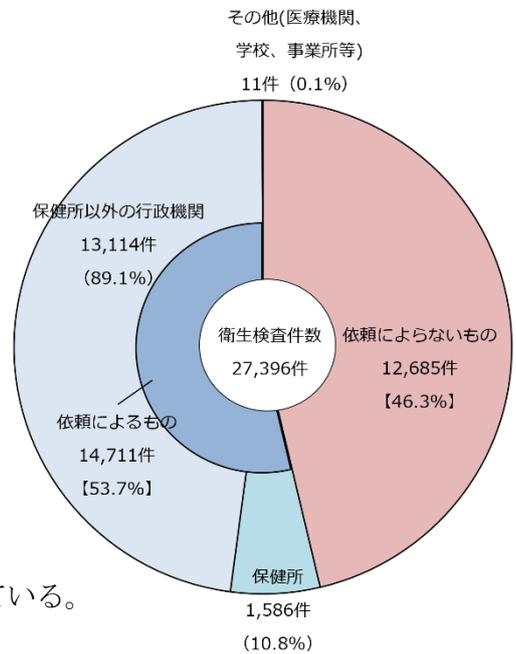
給食施設数は、前年より 36 施設減少し、949 施設となっている。

3 衛生検査

衛生薬業センター及び環境センターにおける検査件数は 27,396 件で、依頼によるものが 14,711 件、依頼によらないものが 12,685 件となっている。

依頼経路別では、保健所以外の行政機関からの依頼によるものが 13,114 件と最も多く、そのなかでは、環境・公害関係検査が 12,567 件と最も多い。依頼によらないものでは、放射能測定が 11,934 件と最も多くなっている。

図1 衛生検査状況 令和5年度 佐賀県



4 不妊手術

不妊手術件数は 64 件で、前年と比較すると 3 件減少している。

5 人工妊娠中絶

人工妊娠中絶件数は 814 件、前年と比較して件数は 16 件増加し、実施率 (15 歳以上 49 歳以下女子人口千対) は 5.6 で、前年より 0.1 ポイント上回っている。

人工妊娠中絶実施率を年齢階級別にみると、令和 5 年度は「25～29 歳」が 10.1 と最も高く、次いで「30～34 歳」が 9.8 となっている。

図2 年齢階級別人工妊娠中絶実施率 佐賀県

